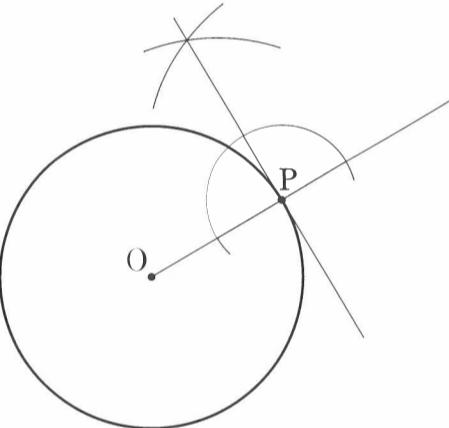


6 数学

50点満点

問題		正解	標準配点	備考
大	小			
1	(1)	① 4	2	
		② $-\frac{3}{4}$	2	
		③ $9x - 2y$	2	
		④ $9\sqrt{2}$	2	
	(2)	$x^2 + 2xy + y^2 - 1$	2	
2	(1)	$5a + 2b = 1020$	2	
	(2)	15	2	
	(3)	42 度	2	
	(4)	120 個	2	
3	(1)			
		$\frac{1}{6}$	2	
(2)	(1)	$\frac{2}{9}$	2	
		529 枚	1	
	[説明の例]			
	$(n-1)$ 番目の図形のタイルは全部で $(n-1)^2$ 枚, n 番目の図形のタイルは全部で n^2 枚と表すことができる。 n 番目の図形をつくるとき, 新たに必要なタイルの枚数は $\begin{aligned} &n^2 - (n-1)^2 \\ &= n^2 - (n^2 - 2n + 1) \\ &= 2n - 1 \end{aligned}$ n は 2 以上の整数であるから, $2n - 1$ は奇数である。 よって, 新たに必要なタイルの枚数は奇数である。		3	

問題		正解	標準配点	備考
大	小			
4		[求める過程の例] 水を移す前の A の水の量を x mL, 水を移す前の B の水の量を y mL とする。 合わせて 820 mL の水が入っていたことから, $x + y = 820 \quad \text{.....(1)}$ それぞれの容器に入っている水の量について, A の $\frac{1}{4}$ と B の $\frac{1}{3}$ を C に移したことから, 水を移した後の C の水の量は, $\frac{1}{4}x + \frac{1}{3}y$ と表すことができる。 また, 水を移した後の C の水の量は, 水を移した後の A の水の量より 60 mL 少なかったことから, $\frac{3}{4}x - 60$ と表すことができる。 どちらも, C の水の量を表していることから, $\frac{1}{4}x + \frac{1}{3}y = \frac{3}{4}x - 60 \quad \text{.....(2)}$ ①, ②を連立方程式として解いて, $x = 400, y = 420$ これらは問題に適している。	5	
5		[証明の例 1] 線分 CI をひく。 $\triangle CIE \cong \triangle CIB$ において CI は共通(1) 仮定から $\angle CEI = \angle CBI = 90^\circ$(2) 仮定から $CE = CB$(3) ①, ②, ③より 直角三角形で, 斜辺と他の 1 辺がそれぞれ等しいから $\triangle CIE \cong \triangle CIB$ 合同な図形の対応する辺は等しいから EI = BI	5	
6	(1)	1	1	
(2)	$y = x + 3$	2		
(3)	$t = 1 + \sqrt{7}$	3		
7	(1)	6 cm	1	
(2)	① $16\sqrt{2}$ cm ²	2		
	② $\frac{64\sqrt{2}}{15}$ cm ³	3		

※部分点については、各校において統一した基準を設けて採点するものとする。